

令和6年(2024年)4月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2024年4月 数量 (トン)	2024年4月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	茨城県産・千葉県産中心の入荷でした。天候も安定し、正品率も高かった。数量は増加し、平均単価もかなり増加しました。	646	154	113%	132%
2		キャベツ	神奈川県産・千葉県産・愛知県産中心の入荷でした。数量はやや減少し、平均単価はかなり増加しました。	959	146	97%	138%
3		トマト	熊本県産・愛知県産中心の入荷でした。数量はやや減少し、平均単価はやや高く推移しました。	269	428	90%	106%
4		レタス	茨城県産中心の入荷でした。数量は、かなり減少し、平均単価はかなり増加となりました。	242	244	66%	139%
5		馬鈴薯	九州管内の降雨続きも収まり、好天に恵まれ数量は増加しました。平均単価は安く推移しました。	313	205	119%	86%
6	果実	その他柑橘	品質低下による正品化率の低下により数量は、かなり減少し、平均単価はやや高く推移しました。	269	353	74%	108%
7		りんご	貯蔵量が少ないため、数量は大幅に減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	170	441	62%	134%
8		いちご	主要産地は前半は九州産、後半が関東産の入荷でした。数量は平年並み、平均単価はやや高く推移しました。	171	1,226	98%	105%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上